

「ジャンプNIIGATA2011」最終目標達成と、次の成長に向けて。



昨年より続く原油安の影響により、海洋分野の投資が抑制される一方、休止していた陸上発電プラントの再稼働や新設など、世界の様々な活動に影響が出ています。国内では、電力自由化も見据えてより一層陸上発電プラントの動きが活発になっています。当社は、この分野において、軽量・コンパクトで環境にやさしい新型ディーゼルエンジン「V28AHX」を開発し販売を開始しました。又、引き続き温暖化対策として重要なエネルギー資源である天然ガスへの燃料転換もガスコージェネレーションの導入などにより進んでおり、ガスエンジンについても積極的に社会に提供していきます。

一方、船舶分野においては、LNG（液化天然ガス）を主燃料に用い、ディーゼル燃料との切り替えが可能なデュアルフューエルエンジン「AHX-DF」が初めてタグボートに搭載され実稼働に入ります。小さな第一歩ですが、従来の船舶用エンジンに比べ大幅に温室効果ガスや汚染物質の排出を抑えることが可能となり、海洋分野に於けるクリーンエミッション、温暖化対応が新しいステージに入るものと思っています。

「V28AHX」、「AHX-DF」何れも中期 5 ヵ年計画「ジャンプ NIIGATA2011」で掲げた新しい製品です。「ジャンプ NIIGATA2011」は今年度が最終年度であり、最終目標達成と次の成長に向けて取り組んでいます。

持続可能な社会を構築するためには、高い経済性を維持しつつも温室効果ガスや汚染物質の排出を大幅に抑制できる製品やサービスを社会に提供し続けることは我々に課せられた大きな責務です。事業活動の全てにおいて「全員参加」「社員一人一人が主役」「経営資源の投入」を通じて継続的に業務品質の向上を図っていき、コンプライアンスを順守し、お客様・取引先・地域社会などからの要請に応じて信頼される会社を目指します。

環境報告書 2015 を発刊し、新潟原動機の社会・環境に対する活動をご報告します。今後とも当社の活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

新潟原動機株式会社
代表取締役社長 本山 和彦